

STAGE+を楽しむ(120)(HP 収載)
—ヴォルフのオーケストラ歌曲集—

1. 始めに

前報(119)に引き続き、STAGE+のヴォルフのオーケストラ歌曲集の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ヴォルフのオーケストラ歌曲集の演奏を選びました。

クヴァストホフ

ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ティールマン

ヴォルフ：オーケストラ歌曲集(The Lost Tapes)

フーゴー・ヴォルフ　メーリケ歌曲集

第 14 番: 明け方に

フーゴー・ヴォルフ　ゲーテ歌曲集

第 1 番: 豎琴弾き

第 2 番: 豎琴弾き II02:08

第 3 番: 豎琴弾き III02:25

フーゴー・ヴォルフ　メーリケ歌曲集

第 46 番: ヴァイラの歌

第 22 番: 溜息

第 28 番: 祈り

フーゴー・ヴォルフ　ゲーテ歌曲集

第 29 番: アナクレオンの墓

第 9 番: 鼠捕りの男



3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpL を接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

トーマス・クヴァストホフは初めて聴くドイツのバス・バリトン歌手ですし、ヴォルフが、メーリケやゲーテの詩をもとに作曲した歌曲も初めて聴くものです。

ドイツ歌曲というと、シューベルトがヴィルヘルム・ミュラーの詩をもとに作曲した冬の旅や美しい水車小屋の娘が思い起こさせられますが、ヴォルフの歌曲集も同様のスタイルであり、バリトンないしはバス・バリトンによって歌われます。シューベルトの歌曲はピアノ伴奏ですが、このヴォルフの歌曲はオーケストラの演奏がバックについています。

クヴァストホフの歌唱は甘くソフトで情緒的であり、ティーレマン指揮のミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団も手堅くこれを支えています。

4. まとめ

LANアキュライザーと Crstal EpL の効果により、ヴォルフのドイツ歌曲の雰囲気味わえました。

以上